

山行報告

松枝岐川支流実川流域の沢

1988年の夏合宿は、松枝岐川の支流、実川流域の一斉遊行として1988年7月30～31日の両日に実施した。この際、トヤマ沢と赤安小沢(L)、黒滝沢右俣、左俣(L)、赤法華沢(L)、上曲沢(L)、大丈沢(L)の7本を遊行した。また、10月には、同流域の碓黄沢を遊行した。これらの記録をまとめて紹介する。



トヤマ沢

1988年7月30日

L

七入から実川林道をたどる。実川林道は、入口にゲートがあって、一般車は入れない。50分程歩くと終点。林道は、矢櫃沢出合の先まで通じている。もっとも矢櫃沢出合より先は、まだ工事中である。

林道終点から実川を遡る。ガイドブックには、左岸に踏跡があるとされていたが、ブッシュにかくされてわからなくなっている。実川本流は、水が少し濁っているのが気になったが、特に悪場もないまま黒滝沢出合。ここで和泉・大西パーティと別れる。

黒滝沢出合から10分程遡ると、実川は急に険悪となる。行手をさえぎるようにしていきなりゴル

ジュが出現。滝は小さいが、深い釜があり、通過は困難。右岸の踏跡を利用して捲く。このあとすぐ赤安沢出合。ここで実川本流と別れて赤安沢に入る。

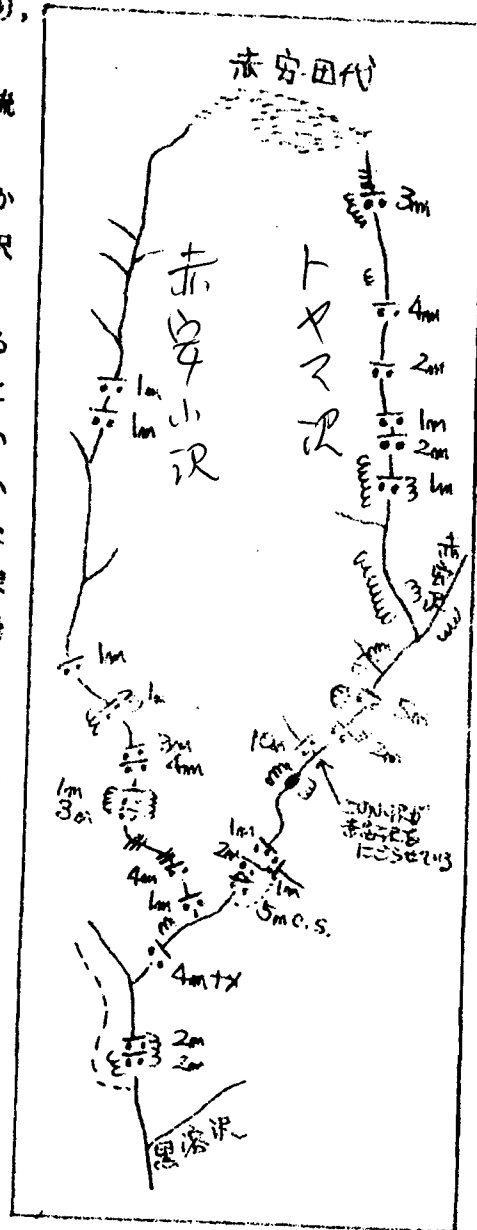
赤安沢は、出合すぐに4mのナメ滝をかける。それを越えて少し遡ると、赤安小沢出合。本日下降予定の沢である。

赤安沢は、このあともなかなか骨のあるところをみせる。まず5mチョック滝。これぞチョック滝という典型的な形をしている。右側を越して上に出る。すると上に小滝が2つ。ここは釜を越えることができなくて、左岸を捲く。少しゆくと、今度は深い釜。両岸にはホールドなし。泳ぐか高捲くかというところであったが、幸いなことに上流側の岸まで、樹木が斜めにかかっている。滑りそうで、あぶなっかしいところであったが、ともかくも渡り終えた。

釜を越えると、今度は雰囲気ガラッと変わる。明るくて広い河原。右岸には何方所もガレ場が見えている。そのガレ場をぬうようにして合流する支沢から、細かなドロが本流に押し出されてきていた。これが赤安沢、さらには実川本流の濁りの元凶である。きっとこの小沢のどこかで土砂崩れでもあったのだろう。

10:20トヤマ沢出合。ようやく今日の目的の沢に到着した。出合からしばらくは、両岸がガレ場となっている。滝はかからないが、ぐんぐん高度をかせいでゆく。途中、小さなゴルジュがあった。チムニー登りの要領で、足、腰のフリクションを使って登る。

両岸のガレ場がなくなると、今度は小滝が出てきた。ポツリ、ポツリという感じで出てくる。1~2mのものが多く、最高で4m程。ここはホールドが無数と



いってよいくらいあり、楽に直登する。

小滝帯をぬけると、しばらく平凡な登りが続く。やがて沢が明るくなる。そして沢の兩岸はガレ場。ここまできるともう沢もおしまいである。1 mの小滝を越えると、水が急に冷たく感じられるようになり、大きなミズバショウの群落が出現し、すぐに赤安田代に飛び出す。

赤安田代では、ニッコウキスゲが盛りであった。山ふところの静かな田代を一面に染めている。登山道がないだけに、訪れる人とてないが、実にすばらしい所。沢が平凡であったことなど、忘れ果ててしまう。願わくば、いつまでもこの姿のままいてほしい。そんな思いを込めて、じっとみとれた。(記・)

[タイム] 七入(6:50)→林道終点(7:40, 8:05)→黒溶沢出合(9:05)→赤安沢出合(9:20)→赤安小沢出合(9:30)→トヤマ沢出合(10:20)→赤安田代(11:35)

赤安小沢 1988年7月30日 L1

赤安小沢の下降は、赤安田代の横断から始まった。トヤマ沢源頭から田代を横切った所が、赤安小沢の源頭である。11:50下降開始。

ところで、この赤安小沢は、全く平凡な沢であった。上流部は急な下りとなったが、滝はかからず。中流部は平凡。わずかに赤安沢も近くなった頃に小滝群が出現し、ちょっと緊張しただけ。でも、そんなことなどまったく気にならないほど、赤安田代の印象が強烈で、沢の平凡さと比較しても充分におつりがきた。

最後の4 m滝は、右岸ブッシュ帯を下る。登りなら楽に越えられる滝である。13:50、赤安沢出合に到着して、2時間の下降を終了した。(記・)

[タイム] 赤安田代(11:50)→赤安沢出合(13:50)→実川本流(14:00)→黒溶沢出合(14:15, 15:30)→林道終点(16:15, 17:00)→七入(17:45)

黒溶沢右俣 1988年7月30日 L1

天気晴。簡単な朝食を済ませ、車を実川林道入口において出発する。林道はいつもゲートがしまっているの、車は入れない。装備を点検して歩き始める。林道は矢櫃沢より少し先まで続いている。ただし、矢櫃沢橋など、まだ工事中であ